

公益社団法人くまもと被害者支援センター
令和2年度（2020年度）事業報告

I 犯罪被害者等に対する支援事業（公益目的事業1）

第1 相談事業 ※（ ）内は、前年比増減数

令和2年度の被害者支援センター相談窓口、ゆあさいどくまもと相談窓口の受付件数は1,570件（+539）で、詳細は別紙のとおりである。

1 電話相談（メール、手紙等含む）事業

令和2年度の電話相談等の受付件数は1,152件（+351）で、支援センターの受付件数が減少となっている一方で、ゆあさいどくまもとの受付件数の増加が著しく、前年度比約1.5倍となっている。その主な要因として、直接支援が必要な案件が増加しており、医療機関や検察庁等への付添い等被害者等に対して継続して相談に応じる件数が増加したことなどが考えられる。

なお、新規相談者数は274人（+32）であった（内ゆあさいどくまもと194人（+35））。

	支援センター	ゆあさいど	合計
電話	254件（-45）	898件（+396）	1,152件（+351）
メール	21件（-29）	180件（+111）	201件（+82）
手紙	7件（+1）	3件（+1）	10件（+2）
その他	0件（±0）	7件（+7）	7件（+7）
合計	282件（-73）	1,088件（+515）	1,370件（+442）

※全国共通ナビダイヤル（0570-783-554）受付件数0件

2 面接相談事業

電話相談の結果、面接相談が必要と思われる被害者等に対し、相談員による面接相談を行った件数は200件（+97）で、前年度比約2倍（内ゆあさいどくまもと154件（+105））となっている。

3 専門相談事業

（1）心理相談

電話・面接相談の結果、カウンセリングが必要と思われる被害者等に対し、センターに登録された協力臨床心理士による心理相談を行った。

相談件数 15件（+10）

（2）法律相談

電話・面接相談の結果、法律相談が必要と思われる被害者等に対し、センターに登録された協力弁護士による法律相談を行った。

相談件数 36件（+10）

4 SNS相談事業

内閣府が実施した「性暴力に関するSNS相談支援促進調査研究事業」を受託し、SNS相談を実施した。

- (1) 相談対応地域 全国
- (2) 実施期間 令和2年10月～令和3年3月
- (3) 実施回数 93回（うち熊本22回）
- (4) 相談件数 324件
- (5) 広報 SNSによる広報、カードの配布

第2 直接的支援事業 ※()内は、前年比増減数

1 危機介入事業

犯罪被害者等早期援助団体への警察からの情報提供による支援要請や、被害者等の要望に応じて、犯罪被害直後から支援が必要と認められる被害者等に対し、病院、被害者宅等で必要な情報の提供、相談等の迅速かつ適切な援助活動を実施した。

警察提供情報受理件数 29件(+13)(内ゆあさいどくまもと 21件(+16))

2 付添い等直接的支援事業

被害者等の要望に応じて、被害者等の精神的負担の軽減を図るため、病院受診や弁護士相談、裁判所等への付添い等の支援を行った。

警察関連支援	10件(-5)
裁判関連支援	81件(+2)
検察庁関連支援	12件(+10)
弁護士相談付添	45件(+8)
行政窓口等への付添	2件(+2)
病院付添	36件(+25)
カウンセリング付添	3件(+3)
自宅等訪問	17件(-10)
物品の供与・貸与	0件(-2)
生活支援	0件(±0)
宿泊施設提供	0件(±0)
支援金等の支給	5件(+2)
その他	7件(+6)
合計	218件(+41)

※その他 学校付添、関係機関連絡調整、情報収集・提供等

3 物品の供与事業

昨年度は、実績なし

4 緊急支援金支給事業

性犯罪被害者に対し、緊急避妊治療費用として、緊急支援金を支給した。

支給件数 5件

5 犯罪被害者等給付金申請補助事業

被害者等の相談を受ける中で、犯罪被害者等給付金の支給対象となる可能性がある被害者に対して、制度の概要及び手続き等の説明を行った。

概要説明 2件 申請補助件数 2件

第3 自助グループ支援事業

1 自助グループ「さくらの会」活動支援

被害者等への長期的な支援として、殺人事件や交通事故の被害者遺族が、つらい経験を被害者等同士で語り合うことで被害の克服を図ることを目的に集う自助グループ「さくらの会」に対して、交流場所の提供等を行った。

(1) 会 員 17名

(2) 定例会 毎月第2水曜日 13:30~15:30

2 性暴力被害者のための自助グループ活動支援

性暴力被害当事者への長期的な支援として、被害当事者同士が、つらい経験を語り合うことで被害の回復を図ることを目的に集う自助グループの設立に向けた支援を行ってきたが、昨年12月「ラグラスの会」（会員5名）が設立された。

今後、交流場所の提供等活動支援を行っていく。

第4 関係機関・団体等との連携による被害者支援事業

1 警察等との連絡及び情報提供

警察、検察庁、保護観察所等、被害者支援に関する情報交換を行い、各機関の活動状況の他、個別案件に関する情報についても可能な範囲で入手し、被害者対応に反映させた。

また、熊本県警本部において、くまもと被害者支援センター相談員傾聴会が開催され、県警本部長以下幹部と支援センター相談員との意見交換を行った。

2 各種協議会への参加

各種協議会に出席し、関係機関にセンターの活動状況を積極的に紹介するとともに、被害者支援情報の交換や相互協力を行っているが、昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、すべての会議が中止となった。

書面開催 熊本県犯罪被害者支援連絡協議会

3 公益社団法人全国被害者支援ネットワークとの連携

「全国被害者支援ネットワーク」との連携を図り、合同の研修会等への参加（WEB参加を含む）等を図りながら支援機能の向上に努めた。

4 産婦人科医療機関、精神科医療機関との連携

性暴力被害者の心身の負担を軽減するため、産婦人科医療機関とのネットワークを構築し、被害者に対する医療措置の要請、医療時における付き添い等の連携を図った。

また、精神的なケアを必要とする被害者への支援について、精神科医療機関へ協力依頼を行った。

5 行政との連携

個別の案件について、公的施設の会議室の借用や行政職員への引継ぎ等連携して対応することができた。

なお、令和元年度に引き続き、熊本市との意見交換会を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施できなかった。

第5 相談員・被害者支援ボランティアの養成及び研修事業

1 被害者支援ボランティアの養成

(1) 令和2年度ボランティア養成講座（入門編）～第19期～の実施

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、開講時期や募集人数を見直すとともに、カリキュラムをコンパクト化し、実施した。

日 時 令和2年9月10日（木）～10月22日（木）

場 所 熊本テルサ研修室 他

内 容 10回30時間→6回20時間

受講者数 6名 県市町村担当者等聴講者 5名

修了者数 6名

2 支援活動員（直接支援員等）の養成

令和元年度及び2年度のボランティア養成講座修了生を対象に、直接的支援員養成専門研修を実施した。

日 時 令和2年12月12日（土）～令和3年2月19日（金）

場 所 くまもと被害者支援センター相談室他

内 容 講義6回18時間・実務研修3回9時間

受講者数 5名

3 全国被害者支援ネットワーク主催研修への派遣

全国被害者支援ネットワークが開催する研修会や講演会に相談員を派遣した（WEBによる参加を含む）。

(1) 全国フォーラム・全国秋期研修

開催日 令和2年10月16日～18日

参加人数 3名

(2) コーディネーター研修（前期）・全国春期研修（WEB）

開催日 令和3年1月28日～29日

参加人数 2名

(3) コーディネーター研修（後期）・NNVSコーディネーター養成研修（WEB）

開催日 令和3年2月3日～5日

参加人数 2名

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止になったもの

九州ブロック質の向上研修（上期・下期）

4 相談員・直接支援員等に対する研修会の開催

(1) 直接支援員継続研修

直接支援員として支援活動に必要な専門的知識や技能を習得してもらうための継続的な研修を実施した。

日 時 令和2年5月12日(火)～令和3年3月9日(火)
奇数月の第2火曜日 10:00～12:00
※5月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
場 所 くまもと被害者支援センター相談室

(2) 「ゆあさいどくまもと」電話相談員継続研修

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、書面開催や分散開催等感染防止対策を図りながら、電話相談員として必要な専門的知識や技能を習得してもらうための継続的な研修を実施した。

日 時 令和2年4月15日(水)～令和3年3月17日(水)
毎月第3水曜日 13:30～16:30
※書面開催 5月・1月・2月
分散開催 4月・6月・8月・10～12月
会場変更 9月・3月
場 所 くまもと被害者支援センター相談室、熊本テルサ 他

(3) 「ゆあさいどくまもと」電話相談員による委員会活動

企画、運営等の能力向上を図るため、研修、広報、出前講座の3つの委員会を設置し、いずれかの委員会に所属し、活動を行った。

① 研修委員会

参加人数 13名 ・活動回数 8回
活動内容 「ゆあさいどくまもと」電話相談員継続研修の企画・運営

② 広報委員会

参加人数 13名 ・活動回数 25回
活動内容 「ゆあさいどくまもと」リーフレット作成、ホームページのリニューアル

③ 出前講座委員会

参加人数 11名 ・活動回数 8回
活動内容 「ゆあさいどくまもと」出前講座プログラムの作成、講師業務

5 スーパービジョンの実施

(1) SV検討会議

スーパーバイザーとして委嘱している弁護士、臨床心理士、社会福祉士等により専門的立場から指導助言をいただくとともに、直接支援員の相談に応じていただく等、相談員のスキルアップやメンタルケアに努めた。

実施回数 6回

(2) 支援連絡会議(ケース検討会)

日 時 令和2年4月14日(火)～令和3年3月9日(火)
毎月第3火曜日 13:30～15:30
※5月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
場 所 くまもと被害者支援センター相談室

第6 被害者等の実態等に関する調査及び研究事業

1 先進的取り組み等の調査及び研究事業

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、県外への移動の自粛が要請されていたため、他団体・機関等との交流、調査ができなかった。

2 刊行物等からの情報収集

被害者等の実態等に関する情報や、当センターの支援対象となる事件の裁判等に関する情報を他団体の機関誌や新聞、雑誌等の刊行物から収集し、支援の際の参考にするともに、相談員の研修資料等として活用した。

II 犯罪被害者等の支援に関する広報及び啓発事業（公益目的事業2）

第1 広報啓発事業

1 機関誌及びリーフレットの作成・配布事業

犯罪被害者支援活動を効果的に推進するため、機関誌「センターニュース」第34号を作成し、正・賛助会員、関係機関・団体、企業等に配布し、被害者支援意識の高揚を図った。

2 各種広報媒体を活用した広報啓発事業

当センターの活動内容等を紹介したホームページを随時更新し、広報啓発を推進した。また、「ゆあさいどくまもと」のホームページをリニューアルした。

3 広報啓発イベントの実施

(1) 犯罪被害者週間事業シンポジウムの開催

新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、関係者のみでパネルディスカッションを開催し、動画をくまもと被害者支援センターホームページで公開した（現在も公開中）。

① テーマ

犯罪被害者ご遺族から、被害者のプライバシーがさらされ、メディアスクラムで自宅に戻れず、つらい思いをしたなど報道に関する声が寄せられている。

そこで、被害者やご遺族が一日でも早く穏やかな生活を取り戻せるために犯罪報道はどうあるべきかを考えるもの。

② 開催日時

令和2年10月30日（金）13:30～15:00

※WEB公開 令和2年11月25日（水）

③ 内 容

パネリスト	犯罪被害者遺族	米村 州弘氏
	熊本日日新聞社社会部次長	横山 千尋氏
	京都新聞社報道部記者	藤松 奈美氏
	弁護士	高木 絹子氏
コーディネーター	フリーアナウンサー	政木 ゆか氏

- ④ 共 催 熊本市
- ⑤ 後 援 熊本県、熊本県警察、熊本県弁護士会
- ⑥ アクセス数 309件（令和3年3月31日現在）

(2) 啓発パネルの巡回展示

「犯罪被害者週間」にあわせ、市役所等のロビー等を借りて、来庁者を対象に、啓発パネルの展示やリーフレット、風船等を机上配布するなどの広報啓発を行った。

- ① 開催期間 令和2年11月9日（月）～12月4日（金）
- ② 開催場所 熊本市中央区役所、東区役所、南区役所
八代市役所、荒尾市荒尾シティモール、長洲町役場
- ③ 内 容 「一行詩いのちのうたコンテスト2018入賞作品」等パネル6枚の展示、くまもと被害者支援センター及び「ゆあさいどくまもと」のリーフレットやウエットティッシュ、風船等の配布、募金箱の設置

(3) 「犯罪被害者週間」街頭キャンペーン

通勤・通学者等を対象に、「犯罪被害者週間」のチラシや、ウエットティッシュ、「ゆあさいどくまもと」の広報カード等を配布した。

- ① 開催日時 令和2年11月24日（火）7：00～10：00
- ② 開催場所 JR熊本駅白川口前広場
- ③ 参加団体 熊本県警広報県民課被害者支援室、地域課鉄道警察隊、熊本南警察署、くまもと被害者支援センター

4 ゆあさいどくまもと出前講座の実施 ※（ ）内は、前年比増減数

(1) 実施回数 20回（-1）

(2) 受講者数 2,039名（-1,642）

中学校 6校 788名 高校 5校 898名 大学 なし
 県内小中高校の教職員及び保護者 7件 308名
 地域婦人会 1件 30名 事務所等 1件 15名

第2 ファンドレイジング事業

1 被害者支援寄付金付き自動販売機の設置促進

飲料メーカーの社会貢献活動の一環として推進される「犯罪被害者支援型自動販売機」の設置を促進し、設置店等や飲料メーカーからの寄附金による財政基盤の強化を図った。

被害者支援自動販売機設置状況

年 度		H24～28	H29	H30	R元	R2
設置数	新規	97	46	8	3	0
	撤去	8	12	5	1	0
	累計	89	123	126	128	128
寄附額（円）		3,815,601	1,503,775	4,394,045	2,528,508	2,101,981

2 募金箱の設置促進及び街頭募金活動の実施

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、街頭募金活動は実施できなかった。

募金箱の設置状況

県警本部・各警察署等 35台 企業・団体 14台
べんとうのヒライ 57台

3 寄付金及び賛助会員募集の呼びかけ

新型コロナウイルス感染症拡大による地域経済の混乱や、県南を襲った7月の豪雨災害にも関わらず、県警や関係機関の協力を得て、大口の寄付金を獲得することができた。一方、事業所への訪問や広報啓発イベント等が実施できず、賛助会員募集活動はできなかった。

(1) 寄付金の受付状況

32件・2,504,326円

(2) 賛助会員の新規獲得状況

(退会には、3年間未納者を含む)

賛助会員	増減	会員数
新規・個人	36人・111,000円 (退会45名)	485名
新規・法人	2団体・20,000円 (退会19団体)	413団体
会費合計	6,625,000円	898

Ⅲ 管理部門

第1 会議の開催

1 定時総会及び理事会の開催

(1) 令和2年度第1回理事会開催

日 時 令和2年5月14日(木) 10:00~11:00
場 所 ホテル熊本テルサ
審議事項 令和元年度事業報告(案)について
令和元年度決算報告(案)について
令和2年度補正予算(案)について

(2) 令和2年度定時総会開催

日 時 令和2年5月29日(金) 10:00~11:00
場 所 ホテル熊本テルサ
審議事項 令和元年度事業報告(案)について
令和元年度決算報告(案)について
報告事項 令和2年度事業計画について
令和2年度収支予算について

(3) 令和2年度第2回理事会（決議省略）

決議があったものとみなされた日 令和2年8月24日

決議の目的である事項 熊本県警本部長の異動に伴う顧問の委嘱（案）について

(4) 令和2年度第3回理事会

日 時 令和3年3月26日（金）10:00～11:00

場 所 ホテル熊本テルサ

審議事項 令和2年度第2次補正予算（案）について

令和3年度事業計画（案）について

令和3年度収支予算（案）・資金調達及び設備投資の見込みについて

役員等の選任手続等に関する規程の一部改正（案）について

就業規程の一部改正（案）について

職員等給与規定の一部改正（案）について

職員等旅費規程の一部改正（案）について

被害者緊急支援積立金に関する規程の一部改正（案）について

支援活動員になり得る者の認定（案）について

令和3年度定時総会の開催日程（案）について

2 熊本県公安委員会への報告

熊本県公安委員会へ、令和元年度事業報告書及び収支計算書、令和2年度事業計画書及び収支予算書等を提出し、適切に報告を行った。

第2 業務執行体制の整備と強化

1 「犯罪被害者等早期援助団体」としての基盤強化

効率的な業務運営に努めた。

また、日本財団助成による3年間の育成期間が終了した職員が、相談支援責任者として活動した。

2 「ゆあさいどくまもと」の業務管理

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言の発令中も、最大限の注意を払いながら、「ゆあさいどくまもと」業務を円滑に運営することができた。

また、相談員のさらなる資質向上に努めるとともに、組織の活性化を図った。

3 財政基盤の強化

賛助会員の継続加入と新規会員の獲得に向けて、各種資料の送付を行った。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、退会者が増えた一方で、新規会員（個人）については例年並みに獲得することができた。

公益社団法人くまもと被害者支援センター令和2年度活動結果集計表

令和2年4月～令和3年3月

<相談活動関係>

表1

Table 1: Consultation activity relationship by method. Columns include phone, email, paper, face-to-face, and other. Rows list various crime types like murder, sexual violence, etc.

表2

Table 2: Relationship with victims. Columns include spouse, parents, relatives, children, friends, and others. Rows list various crime types.

表3

Table 3: Consultation endpoint. Columns include mass media, TV, newspaper, radio, police, etc. Rows list various crime types.

Table 1 continuation: Crime types and counts for consultation activities.

274件 1152 201 10 200 7 1570件

971 70 348 31 17 23 215 1675人

表4

Table 4: Consultation activity content. Columns include phone, face-to-face, and other (email/handwritten). Sub-columns show consultation methods like introduction, adjustment, etc.

1152 8 44 150 9 2 200 7 4 24 29 14 213 1 4 12 0 0 1873件

Table 5: Gender distribution of consultation activities. Columns for male and female counts.

1570人

Table 6: Special consultation activities. Columns for law and psychology consultation counts.

51件

<直接的支援関係>

表5

Table 5: Direct support relationship. Columns include police, court, prosecutor, administrative, hospital, etc.

10 81 12 45 2 36 3 17 0 0 0 0 5 7 218件

表6

Table 6: Self-help group promotion. Single column for count.

11件

<その他の活動関係>

表7

Table 7: Other activity relationship. Columns for public reporting, crime reporting, etc.

57 2 59件